

主要事業一覧

総務部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(新規) ぐんま未来創生基金積立	1,000,200	<ul style="list-style-type: none"> ・企業局からの繰出金を財源として、ぐんま未来創生基金を設置し、未来創生のための事業に活用。 ・基金積立 1,000,200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企業局からの繰入金 1,000,000千円 ・運用益積立 200千円 ・基金活用事業(金額は事業費) <ul style="list-style-type: none"> ・未来創生に向けた人づくり <ul style="list-style-type: none"> ・新高校整備(富岡・甘楽・吾妻) 1,519,244千円 ・市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金 98,427千円 ・人口減少対策としての交流人口増加策 <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の活動・定住支援 7,264千円 ・歴史博物館グランドオープン 48,245千円 ・県立公園おもてなしトイレ整備 36,500千円 ・地方創生に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま暮らし支援 41,395千円 ・県境稜線登山道再整備 50,000千円 ・コンベンション関連産業参入支援 18,000千円
財政課		
県有施設長寿命化推進	1,260,000	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行する県有施設について、計画的な維持修繕を行い、長寿命化を図るため、予算額を大幅に増額。 ・73施設の劣化診断とそれに基づき作成した長期保全計画を踏まえて、保全工事を実施。 ・屋上防水改修、空調設備更新、受変電設備更新 ほか
管財課		
(新規) 県庁舎天井耐震化工事	68,354	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震発生時の安全確保のため、県庁舎県民ホール天井耐震補強工事を実施。 ・工事期間(予定) H29年4月~12月 (来庁者や県民ホール利用者の混乱を避けるため、工事期間に係る周知を事前に実施。)
管財課		
私立学校教育振興費補助	6,515,264	<ul style="list-style-type: none"> ・私立学校の教育条件の維持向上、保護者負担の軽減等のため、教員人件費などの経常的経費に対して補助。 ・補助金額 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 4,576,625千円 ・小・中学校 645,231千円 ・幼稚園 988,635千円 ・専修学校など 304,773千円
学事法制課		
(新規) 私立小中学校等児童生徒経済的支援実証事業	26,400	<ul style="list-style-type: none"> ・私立小中学校等に通う児童生徒の授業料負担の軽減を行う。また、実態把握のための調査をあわせて行う。 ・制度概要 <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象(年収目安): 400万円以下 ・支給対象(学年): 小1~中3 ・補助単価(年額): 100千円 ・実施期間: H29~33年度(5年間)
学事法制課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 女性の視点を活かしたイメージアップ推進	8,126	<ul style="list-style-type: none"> ・若い女性の県外への流出防止、県内への呼び込み・移住定住促進を図るため、女性の視点を活かしたイメージアップを進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)女性向けサイト構築 2,129千円 女性から見た群馬の魅力を伝えるサイトの開設準備(H30年度開設予定) ・(新規)ぐんまちゃん家で女子会 256千円 首都圏在住の女性に本県の特産品や観光情報を提供するとともに、県内事業者との意見交換を実施 ・モニターツアー実施 2,200千円 20~30代女性を対象に県内モニターツアーを実施 ・女性誌等とのコラボ企画 3,000千円 女性誌等において、モニターツアーと連動した記事を掲載するなど、効果的に情報発信 ほか
広報課		
「ぐんまちゃん」を活用したぐんまのイメージアップ	29,698	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐんまちゃん」を最大限に活用し、民間事業者のデザイン利用も促進しながら、本県のイメージアップを推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんまイメージアップキャラバン 6,533千円 ぐんまちゃんが県内外のイベントやマスコミキャラバンに参加し、群馬の魅力をPR ・「ぐんまちゃんナビ」ホームページ運営 1,409千円 ・ぐんまちゃんデザイン利用促進 ほか 8,027千円 ・ぐんまちゃん家によるイメージアップ強化13,729千円 ぐんまちゃん家の店頭でのPR、在京マスメディアへのPR
広報課 ぐんま総合情報センター		
(新規) 防災情報通信ネットワークシステム更新整備基本設計	60,480	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる防災情報通信ネットワークシステムについて、無線設備に係る新基準導入(H34年12月)にあわせて、更新に向けた基本設計を実施。 ・事業予定 <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度：実施設計 ・H31~H33年度：システム構築・設備更新工事
危機管理室		
(新規) ぐんま消防団応援の店	795	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で消防団を応援する気運を高めるため、団員証を提示すると特典サービスが受けられる「ぐんま消防団応援の店」を展開。 ・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・協賛店募集チラシの作成(10,000枚) 220千円 ・協賛店掲示ポスター・表示証(各2,500枚) 575千円
消防保安課		

企画部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
コンベンション施設整備 推進	1,340,036 債務負担行為 (27,967,300)	<ul style="list-style-type: none"> ・高崎競馬場跡地におけるコンベンション施設の整備を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備推進 873,186千円 ・実施設計 232,862千円 ・施設建設工事 230,700千円 (債務負担27,769,300千円) ・工事監理 21,000千円 (債務負担198,000千円) ・埋蔵文化財調査など 388,624千円 ・指定管理者選定委員会開催 262千円 ・用地整理推進 466,588千円 ・今後の主なスケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・H29年末頃 建設工事着手 ・H32年春 施設開所
コンベンション推進課		
コンベンション誘致推進	28,752	<ul style="list-style-type: none"> ・県域を対象としたコンベンション誘致活動を展開するとともに、新施設への誘致活動も強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・県域誘致活動 15,278千円 <ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションフォーラム・推進協議会 ・コンベンションビューロー運営 ・新施設誘致活動 13,474千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設愛称公募(H29年夏頃) ・誘致活動用資料作成 ・誘致活動実施、見本市出展等
コンベンション推進課		
ぐんま暮らし支援	41,395	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村と連携しながら、首都圏から本県への移住を促進。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま暮らしプロモーション 群馬での暮らしを分かりやすくイメージできる動画やポスターを新たに作成するなど情報発信を強化。 ・移住・就職相談窓口の設置 ぐんま暮らし支援センター(有楽町交通会館内)で、移住・就職に関する相談にワンストップで対応。 ・都内での移住相談会の実施 就業や生活などに関する相談会等を実施。
地域政策課		
(一部新規) 地域おこし協力隊の活動・ 定住支援	7,264	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が設置する地域おこし協力隊の導入・設置支援や任期終了後を見据えた起業・定着支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊導入・設置支援 市町村の募集情報を集約し発信するほか、事前体験会や都内での募集相談会等を実施。 ・地域おこし協力隊活動・定着支援 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)隊員の活動情報等を発信するポータルサイトの開設 ・隊員の活動を支援するための研修会 ・任期終了後の起業や地域への定着を支援するためのアドバイザー派遣等
地域政策課		
地域調整費	363,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題に迅速・柔軟に対応し、地域の振興・活性化を主体的に推進するためのソフト事業・ハード事業を、機動的に実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興調整費(ソフト事業) 63,000千円 ・地域公共事業調整費(ハード事業) 300,000千円
地域政策課		

事業名	金額	説明
文化財保存事業費補助	276,682	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町が行う世界遺産構成4資産の保存修理事業に対して補助。 ・対象事業及び補助金額 <ul style="list-style-type: none"> 富岡製糸場（富岡市） 264,291千円 ・西置繭所組立工事、乾燥場災害復旧ほか 田島弥平旧宅（伊勢崎市） 1,234千円 ・実施設計（別荘、冷蔵庫跡）ほか 高山社跡（藤岡市） 7,855千円 ・長屋門修復・補強工事ほか 荒船風穴（下仁田町） 3,302千円 ・番舎東法面对策・調査ほか
世界遺産課		
（新規） 「世界遺産センター(仮称)」 整備	13,437	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産構成4資産と日本遺産・ぐんま絹遺産を含めた情報発信・解説・調査研究の拠点の整備に向け、展示物の内容検討、設計を実施する。 ・開所予定：H30年度 ・設置場所：富岡倉庫内（富岡市）
世界遺産課		
（新規） 世界遺産等周遊アプリ制作	6,000	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな誘客ツールとして、世界遺産構成4資産や日本遺産・ぐんま絹遺産、周辺の観光スポットなどの周遊に活用できるスマートフォン用のアプリを制作する。 ・世界遺産等の紹介のほか、スタンプ収集やナビ機能などを備え、英語にも対応する。
世界遺産課		

生活文化スポーツ部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(一部新規) 振り込め詐欺等根絶対策	15,900	<ul style="list-style-type: none"> ・根絶サポーター養成講座 3,845千円 高齢者の子ども世代に、サポーターとして声かけや通報のノウハウ等を学んでもらう ・高齢者向け体験・実践型研修 3,645千円 高齢者に実際の詐欺の電話を体験してもらう研修 ・(新規)振り込め詐欺等被害防止キャンペーン 7,374千円 被害の増える年末を前にキャンペーンを実施 ・(新規)ATM対策(「のうさぎちゃん」パネル設置) 972千円 無人ATMコーナーに音声で訴えかけるパネルを設置 ・群馬県振り込め詐欺等根絶協議会運営 64千円
消費生活課		
女性の活躍推進	1,755	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が持てる能力を發揮し、様々な分野で活躍できるよう、県民運動の展開と女性の意欲向上等を支援する取組を実施。 ・「ぐんま女性活躍大応援団」事業 1,432千円 趣旨に賛同する企業や団体による女性活躍応援メッセージを県HPで紹介するほか、フォーラムや表彰等を実施 ・とらいあんぐるんサロン(女性の交流・ネットワーク構築) 165千円 様々な分野でキャリアアップを目指す女性によるネットワークを作ったり、研修・情報交換会を開催。
人権男女・多文化共生課		ほか
DV被害者等支援	5,959	<ul style="list-style-type: none"> ・民間支援団体と連携し、DVシェルター運営や同行支援、DV被害者の自立支援等の事業を実施するとともに、若年層に対する予防啓発活動を強化。 ・DVシェルター運営、同行支援補助 1,900千円 ・DV被害者の自立支援 1,928千円 相談やカウンセリング、就労等に関する支援を実施 ・中学生、高校生、大学生向けデートDV講座等 540千円 ・広報啓発等 1,591千円
人権男女・多文化共生課		
(一部新規) 東国文化周知	21,886	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が本県の歴史文化遺産の価値を再認識することで、郷土への誇りと愛着を育むとともに、「東国文化=群馬」のイメージを全国に発信・定着。 ・(新規)古墳・遺跡価値再発見プロジェクト 12,000千円 所在市町村と連携し、地域の子どもと大人と一緒に価値を再発見できるような体験型プログラムを実施 ・東国文化副読本制作 3,669千円 ・古代東国文化サミット開催 5,000千円
文化振興課		ほか

事業名	金額	説明
(一部新規) 上野三碑世界記憶遺産登録 推進・発信事業	11,640	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年度は、ユネスコ「世界の記憶」への登録が審査される。この機を最大限活かし、地元高崎市と連携しながら、PRや登録記念イベント等を実施。 ・ 登録推進関連事業 1,000千円 リーフレット作成、サポーター向け研修会 ほか ・ 日中書道展の開催 3,640千円 中国、高崎の2会場で多胡碑の「書」としての世界的な価値をテーマに書道展を実施。 ・ (新規)登録記念イベント等の実施 7,000千円 登録記念のシンポジウムを開催(県内と東京)。また、登録記念イベントの開催やラッピング車両の運行などを実施。
文化振興課		
(新規) 歴史博物館グランドオープン	48,245	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年7月に予定している歴史博物館グランドオープン事業や、その後の企画展開催を通じて、群馬県の歴史・文化についての情報発信を充実・強化。 ・ グランドオープン事業【H29.7.15～H29.8.31】 2,118千円 金井東裏遺跡出土の人骨や復元レプリカ、指定文化財を中心とした館蔵資料を展示 ・ 企画展示 46,127千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「黒井峯遺跡と群れる馬(仮)」(グランドオープン記念企画展示)【H29.9.30～H29.11.26】 31,830千円 ・ 「あのとき生まれたわたし、そして道具展(仮)」【H29.12.16～H30.2.25】 8,170千円 ・ 「織田信長と東国大名(仮)」 織田信長像(愛知県・長興寺蔵)などを展示 【H30.3.17～H30.5.13】 6,127千円
文化振興課		
(新規) 県民会館施設改修	127,408	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化している群馬県民会館(ベイシア文化ホール)について、大規模改修の実施に向け、基本設計等を実施。 ・ 大規模改修に向けた基本設計 73,775千円 ・ 吊り天井落下防御ネットの設置 53,633千円 大ホール(後部)及び小ホールに吊り天井落下防御ネットを設置。
文化振興課		
群馬交響楽団支援	279,997	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に根ざしたオーケストラである群馬交響楽団の運営基盤の安定を図るため、総合的な支援を実施。 ・ H29年度からは、更なる経営改善と運営体制の構築に取り組む。 ・ 楽団運営費補助 162,775千円 ・ 財務基盤強化 10,000千円 ・ 移動音楽教室 39,245千円 ・ 高校音楽教室 24,482千円 ・ 幼児移動音楽教室 4,250千円 ・ 東京定期演奏会 3,500千円 ・ 県外公演支援 1,000千円 ・ ぐんま県民コンサート 4,500千円 ほか
文化振興課		

事業名	金額	説明
市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金	98,427	<ul style="list-style-type: none"> ・競技規則や施設基準等に適合し、国体等の大規模大会を開催できる施設を、市町村と連携して計画的に整備するため、市町村が行う競技別拠点スポーツ施設の整備に対して補助。 〔補助予定施設及び補助予定額〕 太田市運動公園野球場 98,427千円
スポーツ振興課		
(一部新規) 競技力向上対策	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県のスポーツ水準を高め、国体及び各種全国大会で優秀な成績を収めるとともに、本県出身の日本代表選手が、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場し、メダルを獲得できるよう、各団体が実施する競技力向上対策事業に対して助成。 〔対象団体：県スポーツ協会加盟41競技団体、学校体育団体、県スポーツ協会〕 ・対象事業 <ul style="list-style-type: none"> 〔団体助成(競技団体、高体連、中体連等) 142,635千円〕 ・競技力向上推進 47,883千円 <ul style="list-style-type: none"> 〔ジュニア育成事業 27,670千円〕 ・指導者養成・資質向上事業 10,315千円 ・高校企業強化指定事業 6,700千円 ほかに 〔ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業 9,482千円〕
スポーツ振興課		
(新規) 第72回国民体育大会関東ブロック大会開催	66,623	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年に群馬県で開催する第72回国民体育大会関東ブロック大会の開催県負担金及び大会開催に必要な備品を購入。 ・中心会期：8月18日(金)～20日(日) ・実施競技：33競技
スポーツ振興課		
(一部新規) 稜線トレイル活用推進	34,600	<ul style="list-style-type: none"> ・本県が有する豊かな自然環境を活かしたアウトドアスポーツによる地域活性化を図るため、国内最長となる稜線トレイルの整備・PR等を実施。 〔未開通区間の測量・登山道整備 27,700千円〕 ・ドローンを使ったPR映像作成 4,500千円 ・著名人による講演会 1,500千円 〔登山者へのアンケート調査 900千円〕
スポーツ振興課		
ぐんまマラソン開催	50,051	<ul style="list-style-type: none"> ・フルマラソンを含むマラソン大会を開催し、健康増進を図るとともに県内外の参加者に本県の魅力をアピール。 〔開催負担金 49,700千円〕 〔他大会情報収集など 351千円〕 【大会概要】 〔開催日：H29年11月3日(祝・金)〕 ・メイン会場：正田醤油スタジアム群馬 ・種目、定員 <ul style="list-style-type: none"> 〔フルマラソン(42.195km) 定員5,000人 参加料 8,000円〕 ・10kmマラソン " 4,000人 " 4,000円 ・リバーサイドジョギング " 6,000人 " 2,650円 計 15,000人
スポーツ振興課		

こども未来部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(一部新規) 結婚応援	74,084	<ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金等を活用し、結婚を希望している人を応援。 ・地域少子化対策重点推進事業 54,992千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)コンパス&ぐ〜ちょきプロモーション事業 12,240千円 社会全体の気運醸成のため協賛企業等の新規開拓を実施 ・(新規)結婚応援フェアの開催 2,429千円 若年社会人が結婚を考える機会となるイベント開催 ・地域の結婚応援事業費補助 7,500千円 商工団体等が取り組む結婚応援事業への補助 <p style="text-align: right;">ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま赤い糸プロジェクト 44千円 ・ぐんま縁結びネットワーク 1,048千円 ・結婚新生活支援事業費補助金 18,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象経費：低所得世帯における、結婚に伴う新生活の初期費用（実施市町村への間接補助） ・補助上限額：24万円（国3/4、市町村1/4）
こども政策課		
(一部新規) 子ども・子育て支援事業費	10,899,574	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で子育てを支援し、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、保育所等の運営を支援するほか、市町村等が、地域の実情に応じて実施する認定こども園整備（ハード）、子ども・子育て支援事業等（ソフト・ハード）に補助。 ・市町村保育給付費等負担 7,501,086千円 <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所等の運営に対する運営費補助。 ・補助率 国1/2、県1/4、市町村1/4 ・(新規)保育士の処遇改善 <ul style="list-style-type: none"> 経験7年以上の中堅保育士 月額4万円上乘せ 経験3年以上の保育士 月額5千円上乘せ ・認定こども園整備 700,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等が幼稚園機能を追加するための施設改修等に対する補助。 ・補助率 国1/2、市町村1/4 ・保育所等緊急整備 490,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・安心こども基金を活用して、幼稚園等が保育所機能を追加するための施設改修等に対する補助。 ・補助率 基金1/2、市町村1/4 ・子ども・子育て支援交付金 2,088,640千円 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する地域子ども子育て支援事業に補助。（放課後児童支援員の処遇改善も含む）（補助率1/3） <主な事業> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） 1,252,766千円 ・地域子育て支援拠点事業 345,291千円 <p style="text-align: right;">ほか</p> ・子ども・子育て支援整備交付金 119,848千円 <ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の支援に必要なハード整備費等に補助。 ・放課後児童クラブ（県1/3・6施設）50,197千円 （県2/9・10施設）47,261千円 ・病児保育施設（県3/10・3施設）22,390千円
子育て・青少年課		

事業名	金額	説明
(新規) 子どもの居場所の充実	3,300	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自身がたくましく育つための力(学力・生活力)を身につけられるよう、子どもの居場所を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> 『みんなで作ろう!子どもの居場所』フォーラム開催 220千円 子どもの居場所づくり応援事業 3,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 民間団体が行う、子ども食堂や無料学習塾の新規立ち上げ等に要する費用に対して補助 補助額(定額): 1団体200千円以内 子どもの居場所ボランティア人材バンク構築・運営 80千円 <p>子どもたちへの学習支援活動等に協力いただけるボランティアの人材バンクを県で運営。</p>
子育て・青少年課		
第3子以降3歳未満児 保育料免除	347,256	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の経済的負担を軽減し、人口増加に向けた取組を推進するため、市町村と連携して第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化。 <ul style="list-style-type: none"> 補助率 県1/2、市町村1/2 対象者 保育所、認定こども園、認可外保育施設の利用者で第3子以降の3歳未満児
子育て・青少年課		
保育人材確保対策	5,733	<ul style="list-style-type: none"> 県内の保育人材を確保するための各種事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 保育士就職説明会 400千円 保育の魅力体験ツアー 300千円 <ul style="list-style-type: none"> 保育に興味のある、県内の高校生等を対象として、保育の現場等を見学し、現場職員と意見交換を実施するバスツアーを実施。 保育士修学資金貸付 5,033千円
子育て・青少年課		
(新規) 高校中退者訪問支援	5,500	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり状態等にある高校中退者に対して、個別訪問やカウンセリングを実施し、再学習や就労に向けた伴走支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 対象者: 県(子ども・若者支援協議会)に支援希望を出した者のうち、ひきこもり状態にある者 実施内容: 継続訪問・カウンセリング 外出のための居場所づくり・体験活動 就労・再学習に向けた伴走支援 (公財)青少年育成事業団や地域若者サポートステーションと連携し、再学習や就労に結びつける。
子育て・青少年課		
児童養護施設等整備費補助	23,805	<ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設における養育環境の改善のため、地域小規模施設の改築費用に対して補助。 <ul style="list-style-type: none"> 補助先: 地行園(前橋市朝日町) 補助率: 国1/2、県1/4
児童福祉課		
(一部新規) 児童相談所の体制強化	5,932	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法の改正を受け、児童の安全確保のための初期対応等を迅速・確実に行えるよう、児童相談所の体制を強化。 <ul style="list-style-type: none"> 弁護士の配置(3か所に各1名) 645千円 研修体系の見直し 2,461千円 トラブル対応職員の設置 2,826千円 増加傾向にある一時保護所の児童の安心安全な生活環境を確保するため、嘱託職員を1名増員
児童福祉課		

健康福祉部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(一部新規) 子どもの生活・学習支援	16,527	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困の連鎖防止に向け、H28年度に開始した郡部における生活困窮世帯及びひとり親世帯の中学生への学習支援体制を強化。 ・ 学習支援会場数の増加(7会場 11会場) ほか 15,992千円 ・ (新規)学習支援人材等養成講座 535千円 ・ 学習支援ボランティアを養成するための講座を県内3か所で実施。
健康福祉課		
前橋赤十字病院建設事業費等補助	1,280,244	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前橋赤十字病院の新築移転に伴い、県全域をカバーする病院機能等に係る整備に対して補助。 ・ 県単補助金分 1,155,103千円 ・ 国庫補助金分 125,141千円 <p><新病院の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移転場所：前橋市朝倉町及び後閑町 ・ 病床数：555床 ・ 工期：H27年10月～H30年2月
健康福祉課 医務課 保健予防課		
(新規) 転院搬送救急車配備	90,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防の救急車の転院利用を減らし、急性期から回復期等への転院に活用するため、地域の中核となる病院の救急車整備を支援。 ・ 補助対象 地域医療支援病院等における救急車整備 ・ 補助基準額 30,000千円 ・ 補助率 1/2 ・ 消防の管轄地区(全11地区)ごとに配備することとし、H29年度は6地区で整備。
医務課		
(新規) 災害医療研修	1,500	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時、五師会が連携してチームを編成し、被災地で円滑に医療救護活動ができるように、県医師会が実施する災害医療研修に対して支援。(五師会：県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県柔道整復師会)
医務課		
病床の機能分化・連携推進	256,418	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急性期から回復期への病床転換等を促進するための施設設備整備費に対して補助。 ・ 回復期病床等新築整備(100床) 138,584千円 ・ 回復期病床改修整備(100床) 97,834千円 ・ 回復期病床転換促進設備整備(10病院) 20,000千円
医務課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 医師確保対策	352,516	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の県内定着と地域間・診療科間における偏在解消を図るため、総合的に医師確保対策を推進。 ・医師の県内定着と地域間の偏在解消 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急医師確保修学資金貸与（地域医療枠・113人分） 208,476千円 ・地域医療支援センター運営 36,785千円 ・(新規)(仮称)地域医療研究・教育センター設置推進 7,829千円 群大病院改革の柱の一つである(仮称)地域医療研究・教育センターの設置に向け、既存の地域医療支援センターの機能を拡充することとし、群馬大学や地域の医療関係者と協働して、各地域における適正な医師配置を行う仕組みづくりを検討。 ・研修医の確保と研修病院への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんまレジデントサポート推進 14,782千円 ・専門医認定支援 206千円 ・産科医・小児科医等の特定診療科対策 <ul style="list-style-type: none"> ・医師確保修学研修資金貸与 45,000千円 外科・整形外科を対象診療科に追加 ・産科医師等分娩手当補助 20,338千円 ・周産期医療従事者育成支援 2,500千円 ・女性医師等の就労支援 <ul style="list-style-type: none"> ・保育サポーターバンクの運営支援 16,600千円
医 務 課		
質の高い看護師の育成推進	60,217	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を有するなど、質の高い看護師を育成するため、特定行為や認定看護師等の研修支援を実施。 ・特定行為に係る看護師研修支援 7,894千円 ・認定看護師研修支援 48,000千円 ・訪問看護研修 4,323千円 <p>特定行為研修制度 研修を受けた看護師が、あらかじめ医師が作成した手順書の範囲であれば、その都度、医師の判断を待たずに一定の処置を行うことができる制度。（特定行為の例：気道確保、透析管理、創傷管理など21区分）</p>
医 務 課		
(一部新規) 介護人材確保対策	124,100	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材の参入促進、定着支援、資質向上の視点から総合的な介護人材確保対策を実施。 ・参入促進 42,791千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員による就業支援 2,798千円 ・介護の仕事PR 1,000千円 ・定住外国人等に対する日本語研修 2,059千円 ・定住外国人等の受入準備講座 236千円 ・介護福祉士修学資金等貸付 13,120千円 ・シルバー人材等の介護職員初任者研修受講促進 5,000千円 ほか ・定着支援 25,645千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)ぐんま介護人材育成宣言制度創設 5,285千円 介護職員の定着や参入を促進するため、介護保険サービス事業者が職員の人材育成や処遇改善等に取り組むことを宣言し、県はその取組を支援。 ・施設内保育施設運営支援 4,560千円 ほか ・資質向上 55,464千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任介護職員キャリアアップ支援 14,000千円 ・認定介護福祉士養成研修準備 2,180千円 ・認知症介護指導者養成 12,100千円 ほか ・介護人材確保対策会議 200千円
介 護 高 齢 課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 認知症施策の推進	45,655	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に対する理解促進、早期診断・早期対応、認知症の方や家族からの相談体制の整備など、市町村や医療機関等と連携し、総合的に推進。 (新規)若年性認知症支援コーディネーター設置 4,145千円 本人・家族からの相談に対応するほか、医療・福祉、就労支援等の関係機関へのつなぎ役を行う若年性認知症支援コーディネーターを設置。 (新規)企業向けトップセミナー開催 200千円 介護離職防止に向けて認知症に対する企業の理解を促進。 認知症疾患医療センター運営 27,636千円 専門職の認知症対応に係る資質向上研修 8,988千円 ほか
介護高齢課		
老人福祉施設整備費補助	773,260	<ul style="list-style-type: none"> 在宅での生活が困難な重度の要介護者や認知症高齢者の増加に対応するため、第6期高齢者保健福祉計画(H27～H29)に基づき、特別養護老人ホームの施設整備等に対して補助。 広域型特養整備(210床) 673,260千円 大規模修繕 100,000千円
介護高齢課		
地域密着型介護拠点等整備 ・開設準備経費補助	2,641,111	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築のため、市町村からの要望等を踏まえ、地域密着型特別養護老人ホーム等の施設整備等に対して補助。 地域密着型介護拠点等整備 1,631,593千円 <ul style="list-style-type: none"> 小規模特養(247床) 1,107,301千円 グループホーム(13か所) 416,000千円 小規模多機能型居宅介護(3か所) 96,000千円 ほか 開設準備経費(1,628床) 1,009,518千円
介護高齢課		
(新規) 健康寿命延伸対策	1,200	<ul style="list-style-type: none"> H28年9月に策定した「ぐんま元気の5か条」を広く普及させるため、県立県民健康科学大学と連携したシンポジウムを開催するほか、働く世代向けに健康づくりの指針をまとめたマニュアルを作成。
保健予防課		
(一部新規) がん患者の治療と仕事の両立支援対策	1,282	<ul style="list-style-type: none"> がん患者が治療と仕事を両立できるよう、就労相談等の支援体制を強化。 (新規)がん患者向け情報発信強化(リーフレット作成) 210千円 (新規)就労相談等支援機能強化 948千円 <ul style="list-style-type: none"> 就労支援担当者研修会の開催 172千円 社会保険労務士等による支援体制の整備 713千円 外見ケアに関する相談支援の強化 63千円 事業所向け周知啓発(セミナー開催) 124千円
保健予防課		
障害児者施設整備	183,084	<ul style="list-style-type: none"> 障害児者が地域で自立した生活を送れるよう、障害特性とニーズに応じた障害福祉サービスを提供する体制を整備するほか、住まいの場であるグループホームを整備。 補助率：国1/2、県1/4
障害政策課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 手話施策の推進	3,020	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県手話言語条例やH28年10月に策定した群馬県手話施策実施計画の趣旨を踏まえ、手話施策を一層推進。 <ul style="list-style-type: none"> (新規)遠隔手話通訳サービス 592千円 県庁、ふれあいスポーツプラザ、ゆうあいピック記念温水プールにタブレット端末を配備し、テレビ電話機能を利用して、聴覚障害者と窓口職員の意思疎通を支援。 (新規)県職員向け手話研修の開催 526千円 手話講習会等開催費補助 510千円 手話普及啓発フォーラム開催 725千円
障害政策課		ほか
(新規) 精神障害者の就労移行支援の推進	2,062	<ul style="list-style-type: none"> H30年度から企業における精神障害者の雇用が義務化されることを踏まえ、精神障害者の就労支援技術を強化するため、就労移行支援事業所等に対する研修等を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 事業所向け就労支援技術習得研修 1,224千円 就労移行支援事業所個別指導 838千円
障害政策課		
(一部新規) 自殺対策の推進	17,709	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、自殺対策を一層推進。 <ul style="list-style-type: none"> (新規)自殺対策推進センター設置 4,586千円 地域の特性に応じた施策や、若年層、ハイリスク者への自殺対策を一層推進するために、こころの健康センター内に自殺対策推進センターを設置。 こころの健康相談ダイヤル 9,529千円 こころの健康センターにおいて、平日9時から16時まで対応している相談ダイヤルを22時まで延長。 人材養成(ゲートキーパー養成等) 1,458千円 普及啓発 1,137千円
障害政策課		ほか
福祉医療費補助	8,338,006	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費補助 4,060,511千円 子育て世帯を支援するため、県と市町村が協力して、中学校卒業までの医療費無料化を継続して実施。 重度心身障害者医療費補助 3,571,254千円 健康管理の向上と福祉の増進を図るため、県と市町村が協力して重度心身障害者の医療費無料化を実施。 母子家庭等医療費補助 706,241千円 母子家庭等を支援するため、県と市町村が協力して、母子家庭等の医療費無料化を実施。
国保援護課		
(一部新規) ぐんまの動物愛護推進	15,185	<ul style="list-style-type: none"> 人と動物の共生社会を目指し、ぐんまふるさと納税を活用して動物愛護事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 動物の命を大切にする取組 7,314千円 動物ふれあい教室、動物愛護週間行事 ほか 動物にできるだけ生存の機会を与える取組 5,071千円 譲渡事業の推進、動物愛護ボランティアとの協働 ほか 動物が地域の一員として受け入れられる取組 <ul style="list-style-type: none"> (新規)飼い主のいない猫対策支援 2,800千円 動物愛護団体、獣医師会等と連携して、飼い主のいない猫の繁殖制限や地域での適切な飼養管理の活動を支援。
食品・生活衛生課		

環境森林部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
P C B 廃棄物早期処理対策	12,073	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の保有するP C B 廃棄物等の早期の処理を推進するための取組を実施。 フォローアップ調査 3,904千円 ・H27～28年度に実施した民間事業者等への調査で、回答がなかった事業者に対して再調査を実施。 P C B 適正処理推進員(仮称)による調査 8,169千円 ・嘱託職員を雇用し、H27～28年度の調査及びフォローアップ調査で「所有不明」の回答があった事業者に対して立入調査を実施。(H32年度までの4年間で実施) ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理資金(仮称)の創設 ・P C B 廃棄物処理に係る事業者からの支援要望を踏まえ、既存の制度融資(環境生活保全創造資金融資)に新たなメニューを創設。 ・対象経費:P C B を含むトランス・コンデンサ等の処理・運搬・代替機器設置費用 ・限度額:50,000千円 ・融資期間:7年(うち据置1年) ・融資利率:年1.7%
廃棄物・リサイクル課		
(新規) 県立公園おもてなしトイレ整備	36,500	<ul style="list-style-type: none"> ・県立公園における県管理公衆トイレの洋式化を推進し、公園の魅力向上を図る。 ・赤城、榛名、妙義で計42基の洋便器化を実施。これにより、洋式化率は22.2%から60.6%に向上。 赤城公園 トイレ6カ所 21基 榛名公園 6カ所 13基 妙義公園 2カ所 8基
自然環境課		
芳ヶ平湿地群ワイズユース促進	39,019	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年5月にラムサール条約湿地に登録された「芳ヶ平湿地群」へのアクセス歩道を再整備し、利用の安全性を高めるとともに、環境学習の場として活用するための取組を実施。 ・アクセス歩道再整備(芳ヶ平～草津 5.5km) 36,000千円 ・魅力発信(チラシ配布、マナー啓発など) 3,019千円 ボランティアガイド育成、学習プログラム開発
自然環境課		
(一部新規) 尾瀬学校	87,248	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬の子どもたちが、一度は尾瀬を訪れることができるよう、尾瀬での環境学習を行う「尾瀬学校」を推進し、自然を守る意識や郷土を大切にすることを醸成。 尾瀬学校の実施 85,000千円 ・H29年度の参加児童・生徒見込:10,200人 ・バス借り上げ料・ガイド料補助・教材費等 (新規)尾瀬学校充実 2,248千円 企業版ふるさと納税を活用し、新たに以下の取組を実施。 ・ガイド用のマニュアルを作成し、ガイド内容の均質化、充実を図る。 ・尾瀬学校実施率向上のため、学校向けPR用映像資料を作成。
自然環境課		
(新規) 尾瀬地区おもてなしトイレ整備	29,744	<ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税を活用し、尾瀬地区内の公衆トイレの補修及び洋式化を図る。 山ノ鼻公衆トイレ 8基(現在8基 整備後16基) 竜宮公衆トイレ 4基(現在0基 整備後4基) 洋式化率は山ノ鼻で40%から80%に、竜宮では0%から80%に向上。
自然環境課		

事業名	金額	説明
(新規) 県境稜線登山道再整備	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・「県境稜線トレイル」のルート上にある県が管理する既設の登山道について、荒廃箇所の施設改修、多言語標識設置を実施し、安全で快適に利用できるようにする。 ・H29年度実施箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・谷川岳～天神平 ・三国山～三国峠
自然環境課		
ぐんま緑の県民基金事業	861,245	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま緑の県民基金を活用して、条件不利地等の森林整備やボランティア活動・森林環境教育の推進を図るとともに、森林環境の保全のため、市町村が提案・実施する里山や平地林の整備等の事業に対して補助。 ・条件不利地等の森林整備 563,098千円 ・ボランティア活動・森林環境教育の推進 14,255千円 ・市町村が提案・実施する事業に対する補助 280,000千円 ・制度運営(評価検証・普及啓発等) 3,892千円
林政課 緑化推進課 林業試験場		
林業・木材産業構造改革	111,796	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の促進と木材産業の振興を図るため、高性能林業機械の導入やバイオマス関連施設等の整備を促進。 ・高性能林業機械整備 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体：下仁田森林組合等6団体 ・補助率：国4.5/10または1/3、県1.5/10または1/10 ・補助額：57,470千円 ・木材加工流通施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体：吾妻森林組合 ・補助率：国1/2 ・補助額：42,500千円 ・木質バイオマス利用促進施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体：みどり市 ・補助率：国1/2、県1/10 ・補助額：11,826千円
林業振興課		
ぐんまの木で家づくり支援	300,002	<ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の利用を促進するため、ぐんま優良木材を使用した県産材住宅の建設に助成。 ・構造材補助 850戸(15万円～65万円/戸) ・内装材補助 70戸(上限20万円/戸) ・県産材の使用量が増加するよう、補助区分を使用割合等から使用量に変更。
林業振興課		
(新規) 県産材製品販路拡大対策	4,595	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な木材生産・供給体制の構築に向けて、川上(山元)と川中(製材工場)との直送販路拡大の検討や、ツーバイフォーへの県産材使用を推進するためのモデル事業を実施。 ・民有林システム販売実証事業 370千円 直送販売の仕組みづくりの整備 ・県産材新規製品開発モデル事業 4,225千円 ツーバイフォー用製材製作にかかる設備投資への補助 や県産材ツーバイフォー住宅部材開発補助 ほか
林業振興課		
補助公共事業 (環境森林部)	6,314,000	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の推進、森林の多面的機能の発揮及び山地災害の防止のため、林道・作業道整備、造林、治山等の補助公共事業を実施。 ・林道、作業道等の整備 1,624,309千円 ・造林、間伐の推進 859,396千円 ・治山 3,830,295千円
林政課 森林保全課		

事業名	金額	説明
単独公共事業 (環境森林部)	2,804,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備の推進、森林の多面的機能の発揮及び山地災害の防止のため、小規模事業など補助公共事業では対象とならない林道・作業道整備、造林、治山等の県単独公共事業を実施。
林 政 課 森 林 保 全 課 緑 化 推 進 課		<ul style="list-style-type: none"> ・ 林道、作業道等の整備 564,000千円 ・ 造林、間伐等の推進 140,000千円 ・ 治山 2,100,000千円

農政部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
担い手への農地集積・集約化	372,282	<ul style="list-style-type: none"> ・「農地中間管理機構」制度を活用し、貸借を中心とした担い手への農地集積・集約化を支援。 <ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積・集約化 354,523千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構事業費補助 106,939千円 <ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構(県農業公社)に対して農地の一時借上げ等に係る経費を補助し、貸借を円滑化。 ・機構集積協力金交付 243,818千円 <ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構への農地貸付に伴い離農又は経営転換する農業者等に対して協力金を交付。 ほか 農地と担い手の相互調整 6,905千円 <ul style="list-style-type: none"> 県農業公社への委託により、耕作放棄地の再生、体験農園等を実施。 農地利用最適化促進 10,854千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農用地利用集積促進事業費補助 5,136千円 <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者への利用権の設定を行った者又は受けた認定農業者に奨励金を交付し、農地集積を促進。 ・耕作放棄地リフレッシュ促進 5,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 農地集積に支障となっている、耕作放棄地解消に要する費用を補助。 ほか
農業構造政策課		
はばたけ「ぐんまの担い手」支援	66,000	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大を図る認定農業者、新規就農者や農業に参入する企業及び経営の法人化を目指す経営体など、新分野にチャレンジする農業の担い手を支援。 <ul style="list-style-type: none"> 法人化等支援型 <ul style="list-style-type: none"> ・法人化や6次産業化等の経営発展を支援。 ・事業主体：認定農業者、農業生産法人、集落営農組織等 ・補助率：ハード3/10以内、ソフト1/2以内 新規就農者支援型 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の機械施設の初期投資等を支援。 ・補助率：1/2以内 アグリビジネス参入型 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の農業参入のための機械施設の初期投資等を支援。 ・補助率：ハード3/10以内 新時代対応型 <ul style="list-style-type: none"> ・長期利用可能な資材や省エネ効果が高い機械等への買換えを支援。 ・事業主体：認定農業者、農業生産法人、集落営農組織等 ・補助率：15/100以内
農業構造政策課		
新規就農者確保・就農促進対策	255,896	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手を確保するため、就農希望者や新規就農者に対する支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者確保(国10/10) 245,409千円 <ul style="list-style-type: none"> 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規就農者等に給付金を交付。 ・準備型 <ul style="list-style-type: none"> 農林大学校や先進農家等で研修を受ける就農希望者に年間150万円を交付(最長2年)。 ・経営開始型 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が作成する人・農地プランに位置づけられる原則45歳未満の独立・自営就農者に年間最大150万円を交付(最長5年)。 就農促進対策 10,487千円 <ul style="list-style-type: none"> ・就農留学 6,110千円 <ul style="list-style-type: none"> 就農希望者に対し、生産技術や経営手法を習得するための研修を先進農家で実施。 ・就農相談・研修会の開催 4,063千円 <ul style="list-style-type: none"> 県内14か所の就農相談窓口で就農相談に対応するとともに、就農促進のための研修会を開催。 ほか
農業構造政策課		

事業名	金額	説明
<p>(一部新規) 有害鳥獣対策</p>	<p>625,342</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業者が効果を実感できるよう、関係部局が連携しながら対策を推進。 ・イノシシ及びニホンジカについて、H35年度までに生息数を半減（H25年度比）させる目標の達成に向け、年間捕獲目標頭数を強化。 <ul style="list-style-type: none"> イノシシ ~ H28 : 7,500頭 H29 ~ : 13,000頭 ニホンジカ ~ H28 : 5,500頭 H29 ~ : 10,000頭 <p><捕獲推進></p> <ul style="list-style-type: none"> 生息エリアに応じた効率的な捕獲の実施 89,490千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理鳥獣捕獲等事業 53,800千円 <ul style="list-style-type: none"> シカ：赤城山麓、神津牧場、尾瀬 イノシシ：太田市金山 ・コロニーにおけるカワウの捕獲 14,637千円 ほか 市町村との連携による捕獲推進 173,660千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等が実施する有害鳥獣捕獲に係る経費の補助 151,260千円 ・（新規）ニホンジカの組織的捕獲の実証（長野原・嬭恋、神流・上野、桐生・みどり） 15,330千円 ・（新規）イノシシの生息調査に基づく効率的な捕獲を支援 1,303千円 ・（新規）捕獲後の処理指針作成 739千円 ほか 捕獲の担い手確保、技術向上 3,998千円 <ul style="list-style-type: none"> ・出前型等狩猟免許試験、技術講習会 <p><被害防止></p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥獣害に強い集落づくりの支援 146,157千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村協議会等の取組支援（鳥獣被害防止総合対策交付金・国1/2以内、定額） 141,500千円 侵入防止柵設置、緩衝帯整備への支援等 195,990千円 <ul style="list-style-type: none"> ・侵入防護柵の設置等に対する補助 102,451千円 ・移動抑制のための河川維持補修（伐木、刈り払い等） 43,000千円 ほか <p><調査・研究、人材育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダー等の育成、日本獣医生命科学大学との連携による、新たな対策技術の開発等 16,047千円
<p>自然環境課 林業振興課 林業試験場 技術支援課 蚕糸園芸課 農村整備課 鳥獣被害対策支援センター 河川課</p>		
<p>「野菜王国・ぐんま」総合対策</p>	<p>147,000</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本県農業産出額の約4割を占める野菜の生産振興のため、認定農業者や農業団体等に総合的な支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 大規模野菜経営体育成支援 40,950千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営体を目指ず認定農業者等が行う、施設・機械の整備を支援。 ・補助率：1/3以内 ぐんまの野菜産地育成支援 96,050千円 <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に野菜生産に取り組む産地の生産拡大を図るための施設・機械の整備等を支援。 ・補助率：ハード3/10以内、ソフト1/2以内 目指せ日本一！チャレンジ支援 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・きゅうり等施設果菜類の収量向上を目的に、組織的に野菜生産に取り組む産地や認定農業者等が行う先進的な環境制御技術導入のための機械整備を支援。 ・補助率：1/3以内
<p>蚕糸園芸課</p>		

事業名	金額	説明
野菜価格安定（野菜生産出荷安定資金造成費補助）	183,361	<ul style="list-style-type: none"> 野菜生産農家の経営安定を図り、野菜を計画的に生産・出荷するため、市場価格が著しく低下した場合、生産者に補給金を交付する資金を、国、県、生産者等で造成。 品目ごとの保証基準額と販売価格との差額について、補給金を交付し、翌年度に交付額相当の資金を補てん。 負担者：国、県、市町村、全農、農協、生産者
蚕糸園芸課		
（一部新規） 蚕糸業継承対策	68,793	<ul style="list-style-type: none"> 本県蚕糸業を産業として継承していくため、多様な担い手の確保・育成を図るとともに、県産繭・生糸の流通促進のための事業を実施。 県産繭確保対策 58,167千円 <ul style="list-style-type: none"> 養蚕農家等で組織する協議会が取り組む、繭生産量の維持や高品質繭の増産等の活動に対して支援。 補助額：生産繭量 1kg当たり1,200円 多様な養蚕担い手の育成強化 4,076千円 <ul style="list-style-type: none"> 市町村や農協等と連携して、初期投資の軽減やコーディネートによる相談対応、新規参入者と遊休施設とのマッチング、養蚕農家での実践研修等を実施。 （新規）碓氷製糸経営基盤強化 6,550千円 <ul style="list-style-type: none"> 株式会社化への出資やオリジナル絹製品のデザイン制作、繰糸を体験できる環境整備を支援。
蚕糸園芸課		
県産農畜産物ブランド力強化対策	43,124	<ul style="list-style-type: none"> 県産農畜産物の販売競争力を強化するため、県農畜産物販売戦略協議会を中心に、消費者・実需者の視点を重視した広報活動等を展開。 情報の収集及び活用 2,449千円 <ul style="list-style-type: none"> 消費者や実需者の情報収集とマッチングでの活用 ホームページによる情報発信 戦略的な広報・PR 29,712千円 <ul style="list-style-type: none"> 首都圏等をターゲットにしたパブリシティ活動 ぐんますき焼きアクションの周知・定着 「ぐんま・すき焼きの日」（11月29日）関連行事や、老舗すき焼き店とのタイアップ企画、すき焼きCM放映 ほか コーディネート 9,129千円 <ul style="list-style-type: none"> 首都圏における販売協力店の増加による県産農畜産物の利用拡大、販路拡大 女性の視点を取り入れた商品開発及びPR 1,834千円 <ul style="list-style-type: none"> 企業と連携した新商品の開発と県内外におけるPR（「女子会／ひめラボ」）
ぐんまブランド推進課		
（一部新規） 農畜産物等輸出促進	45,769	<ul style="list-style-type: none"> 本県の農畜産物等の販路拡大及びブランド力向上のため、これまでに構築した人脈を活用し、さらなる輸出拡大を図る。 （新規）イデンティタ・ゴローゼ（Identita Golose）出展等 25,000千円 <ul style="list-style-type: none"> イタリアで開催される世界的な食のコンベンション「イデンティタ・ゴローゼ」に出展し、上州和牛とこんにやくを柱としたプレゼンテーションを実施。 出展に先駆け、現地シェフや関係者を本県に招聘し、生産現場の視察、ワークショップ等を実施。 （新規）こんにやく普及啓発講演会 2,200千円 フランスの著名医師による講演会をパリで開催。 輸出農畜産物定着化促進 4,736千円 <ul style="list-style-type: none"> シンガポール、マレーシアで、県産青果物等の定着化のためのテスト販売を実施。
ぐんまブランド推進課		

事業名	金額	説明
家畜伝染病予防	125,784	<ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病予防法に基づき、各種伝染病の発生予防及びまん延防止を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病予防検査業務 89,971千円 <ul style="list-style-type: none"> 法律に基づく伝染病検査を実施。 特定家畜伝染病対応強化 8,245千円 <ul style="list-style-type: none"> 家畜飼養全農場への立入衛生点検を実施するとともに、特定家畜伝染病の防疫体制の強化を推進。 死亡牛BSE検査体制強化対策 18,472千円 <ul style="list-style-type: none"> 現在の防疫体制の有効性を確認するため、48か月齢以上の死亡牛全頭のBSE検査を実施。 自衛防疫推進 9,096千円 <ul style="list-style-type: none"> 県内農場におけるウイルス感染症の清浄性確認及び清浄化ための検査を実施など。
畜産課		
(新規) 浅間家畜育成牧場 畜産施設及び草地整備	13,630	<ul style="list-style-type: none"> 県内酪農家からの乳用牛預託頭数増加の要望に対応するため、集中管理牛舎、採草地等の整備を計画。 国庫補助申請等に向けた基本設計を実施。
畜産課		
農業生産基盤整備の推進等	4,731,959	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産性の向上と、効率的・安定的な農業経営を確立するため、地域の实情に即した生産基盤の整備や施設の保全対策等を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤の整備 40地区 農業用施設の保全 17地区 農村地域の防災減災 20地区 計 77地区 補助率 国:55,50% 県:42~25% 地元:25~8% その他、国営・機構営事業負担金、施設管理事業、国土調査、災害復旧等を実施
農村整備課		
多面的機能支払	687,041	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度に基づき、農業者等で組織する地域団体が行う農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための活動に対し支援金を交付。 <ul style="list-style-type: none"> 対象となる活動 <ul style="list-style-type: none"> 農地維持のための活動 農地法面の草刈り、水路の泥上げ等 農地等の質的向上のための活動 水路や農道の軽微な補修、農地周辺の植栽活動等 施設の長寿命化のための活動 水路や農道の補修、更新等 交付単価：240円～4,400円/10a 負担割合：国1/2：県1/4：市町村1/4
農村整備課		
小規模農村整備	660,000	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助事業の対象とならない小規模な農業生産基盤の保全・整備や鳥獣害防止施設の整備など、農村地域の多様なニーズに対応したきめ細かな支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 事業主体：市町村、土地改良区、JA等 事業メニュー <ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤保全整備（ほ場整備等） 農村地域保全整備（災害復旧等） 特別対策（鳥獣害対策等） 補助率：1/3～1/2 <ul style="list-style-type: none"> 農業用施設災害復旧のみ65% 「農業生産基盤保全整備事業」については、事業実施後3年以内に担い手等への農地集積率が現状から10%以上増加することが確実と見込まれる場合、補助率50%
農村整備課		

産業経済部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
小規模事業経営支援事業費補助	1,661,157	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済を支える小規模事業者への経営支援を行う、商工会、商工会 連合会、商工会議所へ運営費及び事業費を補助。 <ul style="list-style-type: none"> ・商工会、商工会連合会への補助 1,154,895千円 (補助内容の見直し) 商工会がより活発かつ効果的な支援活動ができるよう、制度を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> ・記帳専任職員の定数化 ・事務局長設置基準の見直し等 ・商工会議所への補助 506,262千円
産業政策課		
(一部新規) 企業誘致推進補助金	706,000	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の設備投資を促進し県内経済の活性化を図るため、工場の新設等を行った企業に対し補助を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：工場、物流施設、試験研究施設、本社建物、データセンターの新設等 ・対象業種： <ul style="list-style-type: none"> 製造業 <ul style="list-style-type: none"> …次世代産業振興戦略のものづくり4分野 (次世代自動車産業、ロボット産業、医療・ヘルスケア産業、環境・新エネルギー産業) 物流業(道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業) …流通加工業 産業支援サービス業 ・補助額：不動産取得税相当額 (新規) 地方拠点強化税制適用企業については減税前の不動産取得税相当額補助に拡充 ・限度額：1億円 (工場に本社建物等を併設する場合は2億円) ・最低投資額：土地・建物の取得額2億円 本社建物、試験研究施設は2,000万円
産業政策課		
(一部新規) 制度融資	49,834,238 債務負担行為 (173,000)	<ul style="list-style-type: none"> ・本県経済の活力を高めるため、長期・低利の制度融資により、県内中小企業の積極経営を後押しするとともに、経営の安定を図ろうとする中小企業を金融面から支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・資金数・総融資枠：10資金、740億円 (H28 10資金、760億円) ・貸出金利を一律0.2%引き下げ(H28.12月～前倒しで実施) ・積極経営の支援(一部新規) <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業パワーアップ資金の対象に以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・経営力向上計画の認定を受けた事業者 ・航空宇宙産業の品質規格である、JISQ9100、Nadcapの認証取得に向けた取組 ・資金繰りの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・借換の要件緩和等の特例措置をH29年度末まで1年延長 ・経営力強化アシスト資金の融資限度額の引き上げ
商政課		

事業名	金額	説明
(一部新規) ぐんま新技術・新製品開発 推進補助	61,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県内中小企業の新技術・新製品開発を支援することで、 本県産業の競争力強化と新産業創出を促進。 <p>[補助内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代産業推進型 (30,000千円) 補助率1/2 限度額 1,000万円 (新規)航空宇宙産業推進型 (12,000千円) 補助率1/2 限度額 600万円 航空宇宙産業に係る新規性・先進性に優れる製品や技術開発を支援 パートナーシップ支援型 (19,000千円) <ul style="list-style-type: none"> ・産業支援機関 補助率2/3 限度額 200万円 ・市町村 - 限度額 80万円 <p>(企業負担:最低20万円)</p>
工業振興課		
(一部新規) ベトナムとの経済交流	3,370	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム政府と締結した「経済交流に関する覚書」に基づき、 県内企業の進出・販路開拓を継続して支援。 <p>[補助内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 販路開拓支援 3,000千円 ベトナムとの交流促進事業、展示商談会への出展支援、 海外ビジネス人材育成研修及び個別相談会等 (新規)外国人技能実習制度活用支援 370千円 外国人技能実習生受入企業及び受入れを検討する企業 を対象として、制度周知・理解促進のためのセミナー、 先進企業見学バスツアーを開催
工業振興課 労働政策課		
医療・ヘルスケア産業振興	10,600	<ul style="list-style-type: none"> ・県内ものづくり企業の医療・ヘルスケア関連分野への参入を支援。 <p>[補助内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 群馬がん治療技術総合特区の推進 1,200千円 総合特区計画の推進母体となる協議会の運営等 医療機器開発の人材育成 6,600千円 医療機器産業への新規参入の促進や既参入企業のステップアップを図るための人材育成研修を実施 ヘルスケア産業の気運醸成 2,800千円 健康増進・疾病予防等に寄与するヘルスケア産業への参入に向けた機運醸成を図るためのフォーラムを開催
次世代産業課		
(一部新規) コンベンション関連産業参入支援	18,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者がコンベンション需要を獲得できるよう、関連事業者への支援を行う。 <p>[補助内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催者と関連企業とのマッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネータによるマッチング支援 12,144千円 ・事業者交流会・研修の開催 919千円 ・県外視察・県外事業者との意見交換 407千円 「群馬ならではの」モデル商品作成 530千円 コンベンションで来県する参加者等に提案する魅力的な商品作りに取り組む。 マッチング支援ゼミナールの開催 4,000千円
次世代産業課		

事業名	金額	説明
戦略産業雇用創造プロジェクト	134,703	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金を活用し、成長産業として期待される「次世代自動車・航空宇宙関連」「医療・ヘルスケア関連」産業への参入支援を行うことで、雇用の受け皿を拡大し、雇用創出を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 戦略産業の受け皿の確保（企業誘致） 6,366千円 次世代自動車産業参入支援 21,880千円 技術マッチング、専門展示商談会出展支援等 航空宇宙産業参入支援事業 18,751千円 情報提供、技術指導、マッチング支援、専門展示会出展支援等 医療・ヘルスケア産業参入支援 31,292千円 展示交流会の開催、専門展示会出展、医療機器開発補助等による支援 公募型共同研究、人材育成セミナー 16,249千円 産業技術センターによる企業との共同研究、技術研修 合同面接会、求職者確保育成、就業支援等 40,165千円 面接会、人材確保育成支援委託、マッチング支援等
労働政策課		
若者就職支援 （Gターン全力応援） （ジョブカフェぐんま運営）	143,115	<ul style="list-style-type: none"> ・Gターン全力応援 58,018千円 ・「Gターン倶楽部」を活用しながら、Gターンカフェや合同企業説明会の開催、群馬県独自の学生向けインターンシップ「Gターンシップ」等を実施。なお、県外在住の学生がGターンシップに参加する場合、交通費の補助も実施。 県内へのU・Iターン就職を支援することを目的とし首都圏及び県内大学等で組織した協力校制度 ・ジョブカフェぐんま運営 85,097千円 ・若者就職支援センター（ジョブカフェ）において、カウンセリングから職業紹介・職場定着支援まで、ワンストップサービスによる若者就職支援、県内企業に対するマッチング支援を実施。 （設置箇所：高崎、桐生、沼田） ・センター内セミナー開催（約80回） ・臨床心理士の配置
労働政策課		
働く女性支援	15,893	<ul style="list-style-type: none"> ・就業や職場環境づくりなど、働く女性を総合的に支援 ・ジョブカフェ・マザーズ運営 10,101千円 家庭との両立を図りながら再就職を希望する女性のためにカウンセリングや企業とのマッチング等で、ワンストップで支援。 ・働く女性支援連携 3,563千円 国・県・市町村で連携し、セミナーや合同企業説明会を開催。 ・いきいきGカンパニー認証 603千円 仕事と家庭を両立しつつ、いきいきと働くことのできる職場環境づくりを推進する企業を認証。 ・働き方改革アドバイザー認定 437千円 社会保険労務士会と連携し、「働き方改革」を推進するアドバイザーを認定。 ・イクボス養成塾開催 839千円 企業経営者等を対象に、育児休業取得等への理解を促すため、各種セミナーを開催。 ・女性リーダー交流会 350千円 女性管理職の養成研修会・交流会を開催。
労働政策課		

事業名	金額	説明
シニア就業支援センター運営	13,293	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年齢者の再就職や多様なニーズに対応した相談・情報提供から職業紹介まで、ワンストップサービスによる支援を実施。さらに、知識や技能を活かしたい高年齢者とその能力を必要とする企業をマッチングする事業を実施。 ・実施方法を見直し、ジョブカフェぐんまへ一本化。若者、女性、高齢者の相談窓口を統一し、全県をカバー。
労働政策課		
(一部新規) 障害者雇用促進強化対策	42,941	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係部局及び労働局等の関係機関との連携のもとに、特別支援学校の生徒や就労支援機関の利用者等への就労支援などを実施。 ・就労開拓支援委託 37,080千円 障害者の就職先及び実習先の開拓を民間職業紹介業者に委託。 ・障害者雇用地域連携ネットワーク 606千円 県内10地域において、障害者を雇用している事業所等の見学会やセミナーを実施。 ・障害者就労サポーター企業 82千円 障害者雇用の促進に協力的な企業を「障害者就労サポーター企業」として登録。協力をいただきながら、障害者雇用を進めたい企業の職員の職場実習等を実施。 ・(新規)特例子会社設立促進 300千円 特例子会社の制度や設立手続等を記載した手引きの作成や設立を検討している企業にサポーター企業社員の随時派遣等を実施。 ・障害者雇用促進トップセミナー開催 669千円 企業経営者に理解を深めてもらうためセミナーを開催するほか、障害者雇用優良事業者に対し、知事表彰を実施。 ・障害者就労サポートセンター運営 4,204千円 障害者就労サポーターの相談員を設置し、関係機関との連絡調整、ネットワークづくりや、学校及び就労支援機関の要望に応じた生徒等の職場実習先や就職先の開拓を実施。
労働政策課		
離職者等再就職訓練	406,506 債務負担行為 (74,650)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業技術専門校が実施主体となり、早期再就職を目指す離職者等に対する職業訓練や就職支援を民間教育機関等に委託。 ・地域産業のニーズ等を踏まえ、多様な職業訓練の機会を提供。 ・実施予定数 56コース(定員950人) (主な拡充項目) <ul style="list-style-type: none"> ・正規雇用を目指す若者を支援するコースの拡充 ・女性の活躍を推進するコースの拡充 ・建設業や介護など人手不足分野への人材供給を目的としたコースの拡充 ・訓練委託先 民間教育機関、NPO法人、事業主等
産業人材育成課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 魅力ある観光地づくり推進	121,809	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県域DMO(県観光物産国際協会)と連携し、山や歴史、古墳など、ぐんまの魅力を生かした観光振興を図るための各種事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県域DMO専門人材人件費(2名分) 23,331千円 ・ マーケティング調査・分析 12,460千円 ・ 山と歴史のぐんま観光事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山や歴史をテーマとした観光資源開発 3,000千円 ・ メディア等外部発信 17,035千円 ・ 首都圏での知事によるトップセールス 6,000千円 ・ 周遊観光パスポート 35,000千円 ・ 宿泊や観光体験施設の利用でポイントがたまる観光パスポートをモバイルと紙の両媒体で実施する ・ 食と土産の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民参加型お土産コンテストの開催 4,000千円 ・ 群馬のお土産情報発信 15,000千円 ・ セミナー開催や人材の育成など 5,983千円
観光物産課		
ググっとぐんま観光キャンペーン	16,300	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村や関係団体等と連携して「ググっとぐんま観光キャンペーン」を開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：H29年7月～9月 ・ 重点的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の観光資源の発掘、磨き上げ、PR ・ 温泉を中心とした、宿泊需要を喚起する観光PR ・ 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を核とした周遊観光促進 ・ 首都圏の旅行事業者への集中的な宣伝、商談実施
観光物産課		
(一部新規) 千客万来支援	140,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村や民間団体が実施する観光振興施策・事業に対して補助。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率：1/2以内 ・ 補助限度額：5,000千円 ・ 補助対象事業：国際観光推進、ビジタートイレ推進、地域資源活用推進、観光施設リニューアル、観光客周遊化支援、歴史文化遺産活用推進、ぐんまの山誘客促進 ・ 群馬の観光資源である山を活用した観光誘客の取り組みを積極的に支援するため、前年から20,000千円増額。
観光物産課		
(一部新規) 海外セールスプロモーション	35,544	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジア、ASEAN、オーストラリアを中心とした観光プロモーションを実施し、外国人誘客を図る。また、県域DMOに中国語ができるインバウンド人材を配置し、台湾からの誘客をさらに進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別プロモーション(県実施) <ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾・中国(若者や女性をターゲットとしたウエディングフォトプロモーションの実施など) 5,289千円 ・ シンガポール・マレーシア(旅行博出展など) 9,698千円 ・ オーストラリア(スキー旅行博出展など) 6,519千円 ・ 観光物産国際協会への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンド人材の設置 5,197千円 ・ 台湾プロモーション(協会実施) 8,841千円
観光物産課		

県土整備部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
<p>「7つの交通軸」の整備・強化</p>	<p>28,714,203</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の高速交通網の効果を最大限に活かすため、高速道路へのアクセス道路となる「7つの交通軸」を重点的に整備・強化。 <ul style="list-style-type: none"> ・上信自動車道 ・西毛広域幹線道路 ・国道17号(国直轄:上武道路、新三国TN、綾戸BP) ・国道50号(国直轄:前橋笠懸道路) ・国道120号(須賀川工区) ・国道122号(塩原BP、館林明和BP、館林BP) ・国道254号バイパス・吉井北通り線 ・国道354号(板倉北川辺BP) ・国道462号(下久保ダム周辺) ・主要地方道高崎渋川線バイパス(3期工区) ・主要地方道前橋玉村線バイパス(朝倉工区) ・主要地方道大間々世良田線バイパス(笠懸藪塚工区) ・主要地方道桐生伊勢崎線(阿左美BP、阿左美大原工区) ・一般県道南新井前橋線(2期工区、3期工区) ほか
<p>監理課 道路管理課 道路整備課 都市計画課</p>		
<p>災害に強い県土を築く 防災・減災対策</p>	<p>12,547,150</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・局地的集中豪雨(ゲリラ豪雨)や台風などによる災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、ハード・ソフト両面から道路防災や治水対策、土砂災害対策などの総合的な防災・減災対策を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 道路防災 2,269,626千円 <ul style="list-style-type: none"> ・落石対策(国道120号ほか) ・橋梁耐震補強(国道462号新粕川橋ほか) ・道路拡幅(孤立防止)(下仁田佐久穂線ほか) ・流出土砂対策(国道291号) ・道路冠水対策(太田大間々線ほか) ほか 治水対策 5,704,426千円 <ul style="list-style-type: none"> ・河川改修(井野川ほか) ・堤防補修・強化(谷田川ほか) ・水位・雨量観測システムの更新(ライブカメラ設置ほか) ・水害リスク調査 ほか 土砂災害対策 4,573,098千円 <ul style="list-style-type: none"> ・土石流対策(戸島沢ほか) ・がけ崩れ対策(千原地区ほか) ・地すべり対策(戸室地区) ・砂防基礎調査の更新(みなかみ町ほか) ほか
<p>建設課 道路管理課 道路整備課 河川防砂</p>		
<p>(新規) 群馬ヘリポート施設整備</p>	<p>323,000</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬ヘリポートの安全な運営を確保するため、老朽化の著しい滑走路やエプロン等の改修工事を実施するとともに、施設の長寿命化計画を策定。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリポート施設改修工事 316,000千円 ・長寿命化計画策定 7,000千円
<p>交通政策課</p>		

事業名	金額	説明
ステーション整備	6,170	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道利用の促進及び地域活性化を図るため、駅及び駅周辺整備に係る事業費の一部を県が負担。 上信電鉄「南高崎駅」 2,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：上信電鉄 ・事業内容：既設の簡易トイレを多機能トイレに改修 ・負担割合：県1/2、高崎市1/2 上信電鉄「上州七日市駅」 2,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：富岡市 ・事業内容：駅舎のバリアフリー化工事のための設計 ・負担割合：県1/2、富岡市1/2 JR「前橋駅」 1,670千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：前橋市 ・事業内容：自転車用南北連絡通路等の設置 ・負担割合：市の起債可能額を除いた額に対し、県1/2、前橋市1/2
交通政策課		
交通施設バリアフリー化推進	47,975	<ul style="list-style-type: none"> ・3,000人以上/日の利用者がいる駅のバリアフリー化を推進するため、バリアフリー化工事に係る事業費の一部を県が負担。 (負担割合：国1/3、県1/6、市町村1/6、事業者1/3) JR「安中駅」 35,255千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：JR東日本 ・事業内容：エレベーター及び多機能トイレ設置工事 JR「新前橋駅」 5,400千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：JR東日本 ・事業内容：ホームに内方線付き点状ブロックを設置 JR「渋川駅」 4,320千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：JR東日本 ・事業内容：ホームに内方線付き点状ブロックを設置 東武鉄道「館林駅」 3,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：東武鉄道 ・事業内容：ホームに内方線付き点状ブロックを設置
交通政策課		
ハッ場ダム関連	9,120,201	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッ場ダム建設事業に関連した各種事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計 7,845,285千円 ・企業局 1,274,916千円 1 ハッ場ダム関連負担金 1,874,916千円 <ul style="list-style-type: none"> (うち企業局 1,274,916千円) ・ハッ場ダム建設国直轄事業負担金 1,462,998千円 ・水源地域整備事業負担金 330,263千円 ・ハッ場ダム基金事業負担金 81,655千円 2 ハッ場ダム関連事業 7,245,285千円 <ul style="list-style-type: none"> 現地生活再建に向けた基幹施設・産業基盤等の整備を進めるとともに、生活の安定及び福祉の向上を図るため、水源地域整備事業・基金事業等を実施。 生活再建に向けた取り組み 6,244,785千円 <ul style="list-style-type: none"> 水源地域整備事業や基金事業、県単独の生活再建対策等を実施。 ・水源地域整備 4,426,886千円 ・ハッ場ダム基金事業推進 1,717,164千円 ・水源地域生活再建対策 21,474千円 ほか 付替道路の整備 1,000,500千円
特定ダム対策課 企業局		

事業名	金額	説明
(新規) 敷島公園補助陸上競技場改修	75,000	<ul style="list-style-type: none"> ・日本陸上競技連盟の第三種公認（H31年1月更新予定）の公認要件を満たすため、必要となる改修工事を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・インフィールドの芝生張り替え 75,000千円
都市計画課		
污水处理施設整備費補助	659,174	<ul style="list-style-type: none"> ・「第15次群馬県総合計画」における污水处理人口普及率目標（H31年度末87.4%）の達成に向け、市町村が実施する污水处理施設整備事業に対し補助。 <ul style="list-style-type: none"> 市町村下水道事業費補助 177,900千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が単独で実施する管渠整備費に対し補助 ・県補助率：流域関連下水道5% 単独公共下水道3% 農業集落排水事業費補助 200,174千円 <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業により農業集落排水施設の整備を進める市町村に対し補助 ・県補助率：1.8% 浄化槽対策費補助 269,100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換設置費に対し補助 ・県補助率：個人型 通常1/3、環境配慮型1/4 市町村型 通常1/4、環境配慮型1/5 ・エコ補助金：個人が合併処理浄化槽へ転換する場合、定額（10万円）を上乗せ 流域関連公共下水道排水設備工事費補助 12,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・個人が行う流域関連公共下水道への排水設備工事に対して市町村が補助制度を新設又は拡充した場合、市町村へ補助 ・県補助率：市町村補助額の1/2（上限5万円）
下水環境課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 木造住宅耐震改修支援	9,900	<ul style="list-style-type: none"> ・地震から県民の生命と財産を守るため、昭和56年5月以前に建築された個人の木造住宅の耐震改修に対して、市町村が補助を実施する場合に、県が市町村の負担額の一部を補助。 1 継続分 <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震改修支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象となる工事 <ul style="list-style-type: none"> 住宅の上部構造評点が1.0未満から1.0以上となる耐震改修工事に係る費用 ・補助率 国庫交付金を除いた市町村負担額の1/2以内 ・補助限度額 150千円/戸 2 新規分 <ul style="list-style-type: none"> 簡易耐震改修支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象となる工事 <ul style="list-style-type: none"> 昭和25年11月22日以前に建築された住宅で、改修後の上部構造評点が0.7以上となり、かつ改修前より0.3以上評点が上がる耐震改修工事に係る費用 ・補助率 国庫交付金を除いた市町村負担額の1/2以内 ・補助限度額 100千円/戸 部分耐震改修支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象となる工事 <ul style="list-style-type: none"> 階数2階の住宅の1階部分の上部構造評点が1.0以上となる耐震改修工事に係る費用 ・補助率 国庫交付金を除いた市町村負担額の1/2以内 ・補助限度額 100千円/戸 耐震シェルター設置支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象となる工事 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者(65歳以上)だけ、もしくは障害者を含む世帯が耐震シェルターを設置する費用 ・補助率 国庫交付金を除いた市町村負担額の1/2以内 ・補助限度額 75千円/戸
建築課		
(新規) 空き家対策	3,384	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策に取り組む市町村を支援するため、空き家対策に係るセミナーの開催や、所有者が不明な空き家の解体費支援を実施。 空き家対策に係るセミナー開催 384千円 空き家対策に係る専門家を講師に招き、市町村を対象としたセミナーを開催 所有者不明特定空家等解体支援 3,000千円 所有者不明の特定空家等を、市町村が略式代執行により解体した場合に、その経費の一部を補助 ・補助率 国庫交付金を除いた市町村負担額の1/2以内 ・補助限度額 600千円/件
住宅政策課		

教育委員会関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
富岡・甘楽地区新高校整備	1,160,703	<ul style="list-style-type: none"> ・富岡高校と富岡東高校を統合し、現富岡高校校地に地域の中核となる新高校(富岡高校)を設置するため、必要となる施設整備を実施。 ・特別教室棟新築 824,850千円 ・既存校舎改修 238,129千円 ・文化財調査等 97,724千円 ・スケジュール H28年度 基本・実施設計等 H29年度 本体工事 H30年4月 開校
管 理 課 高 校 教 育 課		
吾妻地区新高校整備	358,541 (2月補正) 806,962 合計 1,165,503	<ul style="list-style-type: none"> ・中之条高校と吾妻高校を統合し、現中之条高校校地に地域の中核となる新高校(吾妻中央高校)を設置するため、必要となる施設整備を実施。 ・新校舎建設費 806,962千円 ・既存校舎増築・改修 336,148千円 ・文化財調査等 22,393千円 ・スケジュール H28年度 基本・実施設計 H29年度 本体工事 H30年4月 開校
管 理 課 高 校 教 育 課		
前橋商業高等学校第二グラウンド移転整備	683,729	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安全面や練習環境の改善を図るため、前橋商業高等学校野球グラウンドを新たに整備。 ・グラウンド造成等工事 637,632千円 ・埋蔵文化財調査等 46,097千円 ・設置場所 前橋市上佐鳥町 ・スケジュール H28年度 測量調査・設計 H29年度 用地取得・本体工事 H30年4月 供用開始(予定)
管 理 課		
県立高等学校等空調設備整備	432,631	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習環境の改善を図るため、すべての県立高等学校等の空調が必要な教室に空調設備を計画的に整備。 ・空調設置事業 344,497千円 現在、空調が設置されていない県立高校(38校)の2年生の普通教室に空調設備を整備 H30年度に1年生の普通教室に空調設備を整備することにより、すべての普通教室において空調設備の設置が完了する予定 ・PTA空調費負担事業 88,134千円 PTAが空調設備を設置している県立高校等(26校)におけるリース代等のPTA負担について、H29年6月から県費での負担を開始
管 理 課		
学校施設長寿命化推進	780,000	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度までに実施した劣化損傷等状況調査の結果をもとに、老朽化が著しい県立学校施設の長寿命化工事を実施。 ・防水改修工事、緊急安全対策工事、設備等更新工事、グラウンド等改修工事 ほか
管 理 課		
(新規) 二葉・二葉高等特別支援学校スクールバス導入	5,600 債務負担行為 (124,202)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び保護者の通学負担を軽減するため、二葉・二葉高等特別支援学校にスクールバスを導入。 ・スケジュール H29年度 バリアフリープラットホーム設計委託 車両(5台分)購入契約締結 H30年度 バリアフリープラットホーム整備 車両購入 一部運行開始
管 理 課 特 別 支 援 教 育 課		

事業名	金額	説明
伊勢崎特別支援学校での重複障害児の受入れ	2,064	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年4月から重複障害児を受入れられるよう、伊勢崎特別支援学校に看護師を配置。 ・ 太田高等特別支援学校及び伊勢崎高等特別支援学校でも、H30年4月から重複障害のある生徒を受入れられるよう準備を進める。
特別支援教育課		
沼田特別支援学校整備	328,899 2月補正 449,923 合計 778,822	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等部未整備の沼田地域に高等部を整備するとともに、沼田特別支援学校小・中学部の教室不足を解消するため、小中高一体の新校舎を建設。 ・ 新校舎建設費 635,006千円 ・ 仮設校舎経費等 143,816千円 ・ スケジュール H28年度 基本・実施設計等 H29～30年度 本体工事 H31年4月 開校(予定) 藤岡、富岡、吾妻の各地域も含めて、H30年4月から、既存校舎等を活用し、生徒の受入れが開始できるよう準備を進める。
債務負担行為 (952,509)		
館林特別支援学校改築	769,213	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林特別支援学校の教室不足や老朽化に対応するため、増改築工事を実施。 ・ 本体工事費 727,564千円 ・ 仮設校舎経費等 41,649千円 ・ スケジュール H27年度 基本・実施設計 H28～29年度 本体工事 H29年9月 供用開始(予定)
管理課 特別支援教育課		
(一部新規) ぐんま少人数クラスプロジェクト	1,416,250	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県独自の少人数学級編制であるさくらプラン及びわかばプランを継続実施するとともに、H32年度からの小学校における英語の教科化に向けて、県独自に英語の専科教員を新たに配置。 ・ さくらプラン、わかばプラン 1,364,750千円 小学校1・2年 30人以下学級、小学校3・4年 35人以下学級 中学校1年 35人以下学級 ・ (新規)英語教育小学校専科指導 51,500千円 H32年度からの小学校における英語の教科化に向けて、県独自に英語の専科教員を配置。
管 理 課 学 校 人 事 課		
(一部新規) スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー配置	286,861	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめや不登校などの未然防止、早期発見・早期対応や教職員の相談能力の向上のために、スクールカウンセラー等を配置。 ・ 公立小・中学校 242,441千円 ・ スクールカウンセラーの全校配置(小学校306校、中学校161校) ・ スクールカウンセラーに助言を行うスーパーバイザーの配置(5教育事務所) ・ 家庭訪問や福祉事務所など関係機関との連絡調整を行い問題解決を支援するスクールソーシャルワーカーの配置(3教育事務所) ・ (一部新規)県立高等学校等 44,420千円 ・ 全日制高校におけるスクールカウンセラーの全校配置(64校)を継続。 ・ 定時制高校(13校)及び通信制高校(4校)におけるスクールカウンセラーの全校配置を新たに開始。
義 務 教 育 課 高 校 教 育 課		

事業名	金額	説明
地域学校協働活動推進（放課後子ども教室、地域未来塾等）	28,922	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支える様々な取組を推進。（事業に取組む市町村へ補助。負担割合：国・県・市町村1/3） ・放課後子ども教室（18市町村で実施） 22,031千円 放課後等に学校の余裕教室等を活用し、学習や体験活動等の機会を提供。 ・地域未来塾（2村で実施） 1,000千円 経済的な理由や家庭の事情等により、家庭の学習が困難な中学生等に対し、原則無料の学習支援を実施。 ・土曜日の教育支援（10市町村で実施） 2,622千円 ほか
生涯学習課		
（一部新規） 青少年自立・再学習支援 （G-SKY Plan・ ステップアップ支援促進）	9,672	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校やひきこもり等、さまざまな悩みを抱える青少年に対し、青少年会館において自立に向けた支援を実施。 ・G-SKY Plan 5,000千円 不登校等の生徒を対象にした学習方法の相談や進路情報の提供、職場体験など。 ・(新規)ステップアップ支援促進 4,672千円 国庫金を活用し、主に高校中退者を対象に、高卒程度の学力取得を目指した学習相談等を拡充。
生涯学習課		
（新規） 150cm望遠鏡制御システム等整備（ぐんま天文台）	98,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま天文台の150cm望遠鏡について、老朽化が進んでいる制御システム等の更新整備を実施。 ・整備内容 望遠鏡の動きを制御するシステムの更新や鏡面の再蒸着
生涯学習課		
金井東裏遺跡出土甲着装人骨等調査	10,311	<ul style="list-style-type: none"> ・甲着装人骨等について、長期保存や将来的な展示・公開に向けて、レプリカ等を作成する。 ・3号人骨出土状態レプリカ作成 6,808千円 ・1号甲安定台作成 3,503千円
文化財保護課		
古墳情報発信	7,776	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬の古墳の価値を広く認識してもらうため、古墳総合調査（H24～27実施）の成果を活用し、県内外へ情報発信。 ・古墳データベース作成 3,456千円 ウェブ上での公開・活用に向け、古墳総合調査で集約した古墳データを基に、過去の調査記録も合わせてデータベースを作成。 ・スマホアプリ作成 4,320千円 古墳見学に役立つ情報に加え、周辺の観光スポットなども紹介したスマートフォンアプリを作成。
文化財保護課		
（新規） 全国高校総体開催準備	4,128	<ul style="list-style-type: none"> ・H32年に埼玉県を含む北関東4県ブロックで開催される全国高校総体の開催に向けた準備。 ・準備委員会・専門部会の委員会の設置 1,045千円 ・先催県の調査・視察等 1,382千円 ・大会愛称・ポスター募集等の広報・啓発 1,701千円
健康体育課		<ul style="list-style-type: none"> （大会概要） ・開催予定：H32年8月 ・本県開催種目：サッカー、空手道、新体操、レスリング、登山 ・本県は幹事県であるため、総合開会式を実施。

警察本部関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
警察官増員	34,244	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官を16人増員(全国で886人増員)。 ・群馬県の警察官定数 H28:3,426人 H29:3,442人 ・ストーカー、DV(ドメスティックバイオレンス)、特殊詐欺など女性や高齢者が被害に遭う犯罪や、国際テロ防止等への対応強化のため、警察官を増員。
(警)警務課		
高崎北警察署(仮称)新設整備	5,387	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の利便性向上を図るとともに、より一層地域に根ざしたきめ細かな警察活動を推進するため、市町村合併で拡大した高崎警察署の管轄区域を分割し、高崎北警察署(仮称)を新設。 ・H33年度末の完成に向け、H29年度は地質調査を実施。
(警)会計課		
(新規)前橋警察署駅前交番新築整備	54,500	<ul style="list-style-type: none"> ・前橋市が計画している「JR前橋駅北口地区再開発事業」に併せ、駅前交番を移転新築。 ・移転新築時に、来訪者の利便性を向上させるため、駐車スペースの確保やバリアフリー化を実施予定。
(警)地域課		
(新規)総合指揮室システム更新整備	21,229 債務負担行為 (119,888)	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事件事故や大規模災害発生時などに使用する総合指揮室について、設備を更新するとともに、一部機能を高度化。 <高度化する機能> ・映像集配信システム 表示装置の多画面化や受信表示チャンネルの増加 ・被害情報等時系列表示システム 各警察署の報告などを時系列に自動画面表示 ・マルチコプター(いわゆるドローン)導入 ・ウェアラブルカメラ導入
(警)警備第二課		
交通安全施設整備	1,646,444 債務負担行為 (70,902)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止や安全かつ円滑・快適な交通環境を維持するため、交通安全施設を整備。 ・信号機新設(40基) ・信号制御機・柱の老朽更新 ・信号機改良・LED化 ・道路標識・道路標示の新設・更新
(警)交通規制課		

企業局関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(新規) 一般会計への繰出	1,000,000	<ul style="list-style-type: none"> 企業局が実施する事業により生じたH27年度の利益の一部を一般会計へ繰り出し、「群馬の未来創生」に向けた事業の財源とすることにより、地方創生の取り組みを積極的に推進。
(企)総務課	(電気事業会計)	
産業団地等整備	1,573,000	<ul style="list-style-type: none"> 産業基盤整備のため、企業誘致の受け皿となる産業団地等を計画的に整備。 桐生武井西工業団地 354,000千円 板倉ニュータウン産業用地 360,000千円 甘楽第一産業団地 76,000千円 藤岡インターチェンジ西産業団地 72,000千円 館林広域防災拠点 316,000千円 A地区(明和町)(新規) 350,000千円 B地区(東毛)(新規) 45,000千円
(企)団地課	債務負担行為 (2,116,000) (団地造成事業会計)	
県営ゴルフ場クラブハウス整備	67,000	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進んでいる4ゴルフ場(前橋・上武・板倉・新玉村)のクラブハウス整備を行うための用地測量並びに実施設計等を行うほか、順次、工事に着手。 4ゴルフ場の測量・設計 67,000千円 スケジュール H29年度 前橋・上武の整備工事着手 (債務負担行為 210,000千円) H30年度 前橋・上武・板倉・新玉村の整備工事完了
(企)施設管理室	(施設管理事業会計)	
(新規) 水道用水料金改定	-	<ul style="list-style-type: none"> 今後の給水見通しや減価償却費の状況を踏まえ、新田山田、東部地域、県央第二の3水道の料金の引き下げを実施。給水区域は前橋市ほか12市町。 [現行料金] [新料金] 107円/m³ 102円/m³ (5円値下げ) 県央第一は変更なし
(企)水道課	(水道事業会計)	

病院局関係

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(新規) 駐車場増設	28,220	<ul style="list-style-type: none"> 小児医療センターの駐車場不足を解消するため、駐車場を増設。(115台 169台、+54台分)
小児医療センター	(病院事業会計)	

地方創生推進交付金事業

平成28年度に引き続き、「地方創生推進交付金」を活用して、群馬県版総合戦略に基づく事業を推進し、群馬の未来を創生していく。

地方創生推進交付金事業：事業費1,154,070千円(国費577,034千円)

(1) 移住・定住支援～ぐんまの魅力発信～	事業費：132,397千円 (国費66,198千円)
------------------------------	-----------------------------------

若者や女性向けに本県魅力を発信し、「人・モノ・情報」の流れを呼び込む。

・ 女性の視点を活かしたイメージアップ推進	広報課	8,126 千円
・ ぐんま暮らし支援	地域政策課	41,395 千円
・ 若者就職支援(Gターン全力応援)	労働政策課	58,018 千円
ほか		

(2) 地域資源の海外販路開拓・ブランド力強化	事業費：127,038千円 (国費63,519千円)
--------------------------------	-----------------------------------

海外市場を取り込む販売力強化により、農業や地場産業を魅力ある産業へ成長させ、県内外の若者等を呼び込む。

・ 県産農畜産物ブランド力強化対策	ぐんまブランド推進課	43,124 千円
・ 農畜産物等輸出促進	ぐんまブランド推進課	45,769 千円
・ ベトナムとの経済交流	工業振興課、労働政策課	3,370 千円
ほか		

(3) 「魅力あふれる観光県ぐんま」の推進	事業費：580,134千円 (国費290,067千円)
------------------------------	------------------------------------

本県の地域経済の活性化や雇用創出のため、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、DMO的手法を取り入れながら、「観光県ぐんま」を推進する。

・ 東国文化周知	文化振興課	21,886 千円
・ 上野三碑世界記憶遺産登録推進・発信事業	文化振興課	11,640 千円
・ 稜線トレイル活用推進	スポーツ振興課	34,600 千円
・ 県境稜線登山道再整備	自然環境課	50,000 千円
・ 魅力ある観光地づくり推進	観光物産課	121,809 千円
ほか		

(4) ぐんまの強みを活かした「しごと創生」	事業費：130,095千円 (国費65,047千円)
-------------------------------	-----------------------------------

人口減少に歯止めをかけ、「魅力あふれるぐんま」を実現していくために、本県ならではの各産業の強みと特性を活かした「しごと創生」を推進する。

・ コンベンション誘致推進	コンベンション推進課	28,752 千円
・ コンベンション関連産業参入支援	次世代産業課	18,000 千円
・ 県産材製品販路拡大対策	林業振興課	4,595 千円
ほか		

(5) 群馬県「働き方改革推進」事業	事業費：184,406千円 (国費92,203千円)
---------------------------	-----------------------------------

生産年齢人口が減少する中、ワーク・ライフ・バランスの実現、働き手の確保に向け、「働き方改革」と就労の支援を推進する。

・ 働く女性支援	労働政策課	15,893 千円
・ 保育人材確保対策(保育の魅力体験ツアー、保育士就職説明会)	子育て・青少年課	700 千円
・ 若者就職支援(ジョブカフェぐんま運営)	労働政策課	85,097 千円
・ シニア就業支援センター運営	労働政策課	13,293 千円
・ 障害者雇用促進強化対策	労働政策課	42,941 千円
ほか		

ぐんま未来創生基金

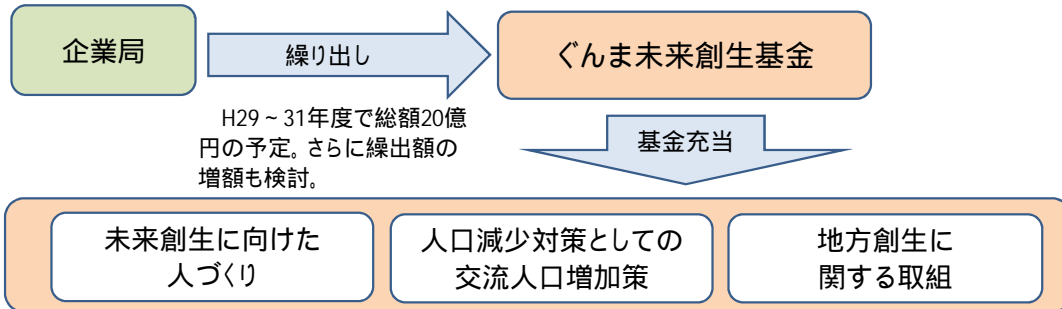
群馬県企業局が実施する事業により生じた利益の一部を活用し、「ぐんま未来創生基金」を設置する。

この基金を活用し、群馬の未来創生に資する事業を重点的に推進する。

【基金の概要】

(1) 平成29年度積立額 10億円

(2) 基金の総額 20億円(平成29年度 10億円、平成30年度 5億円、平成31年度 5億円)



【基金活用事業】

以下の新規事業等に活用

事業費

(うち基金)

基金活用事業	事業費	(うち基金)
未来創生に向けた人づくり(教育・スポーツ)	3,198,547 千円	(662,789 千円)
新高校整備(富岡・甘楽・吾妻)	1,519,244 千円	(154,629 千円)
沼田特別支援学校整備	328,899 千円	(120,756 千円)
前橋商業高等学校第二グラウンド移転整備	683,729 千円	(84,729 千円)
県立高等学校等空調設備整備	432,631 千円	(131,631 千円)
小学校英語教育アドバイザー教員配置	51,500 千円	(51,500 千円)
第72回国民体育大会関東ブロック大会競技用備品整備	9,117 千円	(9,117 千円)
市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金	98,427 千円	(98,427 千円)
敷島公園補助陸上競技場改修	75,000 千円	(12,000 千円)
人口減少対策としての交流人口増加策(観光・移住)	92,009 千円	(69,456 千円)
地域おこし協力隊の活動・定住支援	7,264 千円	(7,264 千円)
歴史博物館グランドオープン	48,245 千円	(25,692 千円)
県立公園おもてなしトイレ整備	36,500 千円	(36,500 千円)
地方創生に関する取組	618,309 千円	(267,755 千円)
ぐんま暮らし支援	41,395 千円	(20,698 千円)
Gターン全力応援	58,018 千円	(19,009 千円)
県産農畜産物ブランド力強化対策	43,124 千円	(21,562 千円)
県境稜線登山道再整備	50,000 千円	(3,000 千円)
「世界遺産センター(仮称)」整備	13,437 千円	(6,719 千円)
世界遺産等周遊アプリ制作	6,000 千円	(3,000 千円)
東国文化周知	21,886 千円	(6,043 千円)
上野三碑世界記憶遺産登録推進・発信事業	11,640 千円	(5,820 千円)
古墳情報発信	7,776 千円	(3,888 千円)
魅力ある観光地づくり推進	121,809 千円	(51,404 千円)
ググっとぐんま観光キャンペーン	16,300 千円	(8,150 千円)
千客万来支援	140,000 千円	(75,000 千円)
海外セールスプロモーション	35,544 千円	(17,772 千円)
観光誘客促進(ぐんま観光おもてなし事業 ほか)	33,380 千円	(16,690 千円)
コンベンション関連産業参入支援	18,000 千円	(9,000 千円)
合 計	3,908,865 千円	(1,000,000 千円)

企業版ふるさと納税

「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」を活用し、群馬県版総合戦略に基づく3つのプロジェクトを実施します。

「ぐんまの絹」
再興プロジェクト

群馬交響楽団による
魅力向上プロジェクト

豊かなぐんまの環境を
未来につなぐプロジェクト

3つのプロジェクトに係る地域再生計画を1月に申請しており、3月に認定される予定。

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の制度概要

地方版総合戦略を策定した地方公共団体が、県外本社の法人から寄附を受けて効率的・効果的に実施する事業を記載した地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けた場合に、当該計画に記載された事業に寄附を行った法人について、法人住民税、法人事業税、法人税の課税の特例措置を講ずる制度。

1. 「ぐんまの絹」再興プロジェクト

事業費：73,877千円

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を契機として、本県の持つ価値の伝承、関連施設への誘客を進めるとともに、絹への関心が高まっている気運を生かし、蚕糸業を再興することを目指す。

・ぐんま絹遺産解説指導員配置	世界遺産課	9,084千円
・蚕糸業継承対策	蚕糸園芸課	68,793千円()

地域再生計画の対象事業費は 64,793千円

法人からの寄附見込み(H29.1月末現在) 200千円

2. 群馬交響楽団による魅力向上プロジェクト

～音楽を通じた人の交流創出計画～ 事業費：40,562千円

県民が育ててきた音楽文化の象徴である「群馬交響楽団」を生かし、本県の文化に関する魅力を発信するとともに、県外からの交流人口の増加を図ることにより、経済的波及効果を創出し、本県の活性化となることを目指す。

・群馬交響楽団支援	文化振興課	279,997千円()
-----------	-------	--------------

地域再生計画の対象事業費は 40,562千円

法人からの寄附見込み(H29.1月末現在) 6,500千円

3. 豊かなぐんまの環境を未来につなぐプロジェクト 事業費：118,817千円

本県の豊かな自然の代表として尾瀬の保全と適切な利活用に関する取組を推進することで、群馬県の魅力を象徴する形で広く発信するとともに、自然を活用した体験型・参加型の環境学習を推進することにより、群馬県の未来を担う子どもたちの地域への誇りと愛着を醸成することを目指す。

・尾瀬地区おもてなしトイレ整備	自然環境課	29,744千円
・尾瀬学校	自然環境課	85,000千円
・尾瀬学校充実	自然環境課	2,248千円
・エコカレッジ(ぐんま環境学校)	環境政策課	325千円
・子ども向け地域環境学習支援	環境政策課	1,500千円

法人からの寄附見込み(H29.1月末現在) 105,600千円